

岡 広 監 第 6 号  
平成 2 7 年 7 月 1 6 日

岡山県後期高齢者医療広域連合長 黒 田 晋 様

岡山県後期高齢者医療広域連合監査委員 白 神 利 行

岡山県後期高齢者医療広域連合監査委員 山 崎 親 男

平成 2 6 年度岡山県後期高齢者医療広域連合各会計歳入歳出決算審査意見  
について

地方自治法（昭和 2 2 年法律第 6 7 号）第 2 9 2 条において準用する同法第 2 3 3 条第 2 項の規定により審査に付された平成 2 6 年度岡山県後期高齢者医療広域連合各会計歳入歳出決算及び証書類その他関係書類を審査した結果、別紙のとおりその意見を提出する。

平成 26 年度

岡山県後期高齢者医療広域連合

一般会計 歳入歳出決算審査意見書  
特別会計

岡山県後期高齢者医療広域連合監査委員

# 目 次

## 各会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象 .....	1
第2 審査の期日 .....	1
第3 審査の方法 .....	1
第4 審査の結果 .....	1
1 決算の総括 .....	2
(1) 決算規模 .....	2
(2) 決算収支 .....	3
2 一般会計 .....	4
(1) 歳入 .....	5
(2) 歳出 .....	8
3 後期高齢者医療特別会計 .....	10
(1) 歳入 .....	11
(2) 歳出 .....	15
4 財産に関する調書 .....	18
5 むすび .....	19

(注) 文中の比率、各表の比率及び数値は、原則として表示の1桁下位で四捨五入した。  
このため計数が一致しない場合がある。

## 平成26年度岡山県後期高齢者医療広域連合各会計歳入歳出決算審査意見

### 第1 審査の対象

平成26年度岡山県後期高齢者医療広域連合一般会計歳入歳出決算

平成26年度岡山県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算  
(決算附属書類)

平成26年度各会計歳入歳出決算事項別明細書

平成26年度各会計実質収支に関する調書

平成26年度財産に関する調書

### 第2 審査の期日

平成27年7月16日

### 第3 審査の方法

審査に当たっては、平成26年度岡山県後期高齢者医療広域連合各会計歳入歳出決算書及び証書類並びに歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書が関係法令に適合して調製されているかどうかを確認し、これらの計数を会計管理者所管の関係諸帳簿及び証拠書類と照合することにより実施した。

また、予算の執行状況等については、これらの資料のほか、例月出納検査及び定期監査の結果も考慮に入れながら、必要に応じ関係職員からの説明を聴取し、その適否について審査した。

### 第4 審査の結果

審査に付された各会計歳入歳出決算書等は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、計数は関係諸帳簿と符合し正確であると認めた。

また、予算の執行については、要望及び検討事項はあるが、おおむね適正であると認めた。

なお、各会計の決算状況及びこれらに対する審査意見は、次のとおりである。

# 1 決算の総括

## (1) 決算規模

一般会計及び特別会計の決算額は

歳入	2,578億8,987万9,852円	(予算現額に対する収入歩合)	100.00%
一般会計	6,144万7,370円	(同)	100.01%
特別会計	2,578億2,843万2,482円	(同)	100.00%
歳出	2,577億9,323万8,223円	(予算現額に対する執行率)	99.96%
一般会計	5,988万2,704円	(同)	97.46%
特別会計	2,577億3,335万5,519円	(同)	99.96%
歳入歳出差引額	9,664万1,629円		
一般会計	156万4,666円		
特別会計	9,507万6,963円		

となっている。

次に、決算規模の推移は、次表のとおりである。

### 決算規模の推移

年度	歳入		歳出	
	決算額	対前年度 増、減(△)額	決算額	対前年度 増、減(△)額
24	238,206,146,010円	9,368,190,637円	238,114,133,959円	9,379,210,826円
25	249,079,793,116円	10,873,647,106円	248,976,105,820円	10,861,971,861円
26	257,889,879,852円	8,810,086,736円	257,793,238,223円	8,817,132,403円

## (2) 決算収支

本年度決算収支の状況は次表のとおりで、一般会計及び特別会計の総額では、歳入歳出差引額 9,664 万 1,629 円の余剰金が生じており、実質収支として同額の黒字決算となっている。

また、単年度収支では 704 万 5,667 円の赤字となっている。

## 決算収支の推移

区 分		26年度	25年度	24年度
歳入総額 A		円	円	円
	一般会計	61,447,370	62,574,540	61,136,396
	特別会計	257,828,432,482	249,017,218,576	238,145,009,614
	計	257,889,879,852	249,079,793,116	238,206,146,010
歳出総額 B	一般会計	59,882,704	61,192,605	59,262,193
	特別会計	257,733,355,519	248,914,913,215	238,054,871,766
	計	257,793,238,223	248,976,105,820	238,114,133,959
歳入歳出差引額 (A-B) C	一般会計	1,564,666	1,381,935	1,874,203
	特別会計	95,076,963	102,305,361	90,137,848
	計	96,641,629	103,687,296	92,012,051
翌年度へ繰り 越すべき財源 (既収入財源) D	一般会計	0	0	0
	特別会計	0	0	0
	計	0	0	0
実質収支 (C-D) E	一般会計	1,564,666	1,381,935	1,874,203
	特別会計	95,076,963	102,305,361	90,137,848
	計	96,641,629	103,687,296	92,012,051
単年度収支 E-前年度のE	一般会計	182,731	△492,268	763,517
	特別会計	△7,228,398	12,167,513	△11,783,706
	計	△7,045,667	11,675,245	△11,020,189

## 2 一般会計

一般会計の決算額は、歳入 6,144 万 7,370 円(予算現額に対する収入歩合 100.01%)、歳出 5,988 万 2,704 円(予算現額に対する執行率 97.46%)、歳入歳出差引額 156 万 4,666 円となっている。

次に、決算規模の推移は、次表のとおりである。

一般会計決算規模の推移

年度	歳 入		歳 出	
	決 算 額	対前年度 増、減(△)額	決 算 額	対前年度 増、減(△)額
25	62,574,540円	1,438,144円	61,192,605円	1,930,412円
26	61,447,370円	△1,127,170円	59,882,704円	△1,309,901円

本年度決算収支の状況は次表のとおりで、歳入歳出差引額 156 万 4,666 円の余剰金を生じており、実質収支として同額の黒字決算となっている。

また、単年度収支では 18 万 2,731 円の黒字となっている。

一般会計決算収支の推移

区 分	26年度	25年度
歳入総額 A	61,447,370円	62,574,540円
歳出総額 B	59,882,704円	61,192,605円
歳入歳出差引額 (A-B) C	1,564,666円	1,381,935円
翌年度へ繰り 越すべき財源 (既収入財源) D	0円	0円
実質収支 (C-D) E	1,564,666円	1,381,935円
単年度収支 E-前年度のE	182,731円	△492,268円

なお、平成25年度で国の制度である地域格差経過措置(不均一賦課制度)が終了したことにより、歳入では国庫支出金、県支出金、歳出では民生費(特別会計への繰出)が皆減となっている。

(1) 歳入

ア 決算状況

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

一般会計歳入決算状況

区 分		26年度 A	25年度 B	増、減(△) A-B
予算現額		61,442,000円	62,575,000円	△1,133,000円
調定額		61,447,370円	62,574,540円	△1,127,170円
収入 済額	金額	61,447,370円	62,574,540円	△1,127,170円
	予算現額に対する 比率(収入歩合)	100.01%	100.00%	0.00%
	調定額に対する 比率(収納率)	100.00%	100.00%	0.00%
収入未済額		0円	0円	0円
不納欠損額		0円	0円	0円

予算現額 6,144 万 2,000 円に対し、収入済額は 6,144 万 7,370 円で、前年度に比べ 112 万 7,170 円の減少となっている。

予算現額に対する収入歩合は 100.01%で、前年度に比べ 0.01 ポイント上昇している。

調定額に対する収納率は 100.00%で、前年度と同率となっている。

イ 財源別収入状況

財源別収入状況は、次表のとおりである。

一般会計一般財源及び特定財源年度別比較表

財源別	区分	26年度		25年度		増、減(△)	
		決算額	構成比	決算額	構成比	金額	構成比
一般財源	分担金及び 負担金	円 60,036,000	% 97.70	円 59,727,000	% 95.45	円 309,000	% 2.25
	繰越金	1,381,935	2.25	1,874,203	3.00	△492,268	△0.75
	諸収入	5,463	0.01	19,500	0.03	△14,037	△0.02
	繰入金	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	小計	61,423,398	99.96	61,620,703	98.48	△197,305	1.48
特定財源	国庫支出金	0	0.00	467,400	0.74	△467,400	△0.74
	県支出金	0	0.00	467,400	0.74	△467,400	△0.74
	財産収入	23,972	0.04	19,037	0.04	4,935	0.00
	小計	23,972	0.04	953,837	1.52	△929,865	△1.48
合 計		61,447,370	100.00	62,574,540	100.00	△1,127,170	0.00

一般財源は 6,142 万 3,398 円で、前年度に比べ 19 万 7,305 円の減少となっている。歳入総額に占める割合は 99.96%で、前年度に比べ 1.48 ポイント上昇している。

特定財源は 2 万 3,972 円で、前年度に比べ 92 万 9,865 円の減少となっている。歳入総額に占める割合は 0.04%で、前年度に比べ 1.48 ポイント低下している。



ウ 款別決算状況

款別の決算状況は、次のとおりである。

第1款 分担金及び負担金

予算現額 6,003 万 6,000 円に対し、収入済額は 6,003 万 6,000 円で、同額となっている。

前年度に比べ事務費負担金が 30 万 9,000 円増加している。

項 別 状 況

項	26年度			25年度			増、減(△)
	予算現額	収入済額		予算現額	収入済額		
		A	収入歩合		B	収入歩合	A - B
	円	円	%	円	円	%	円
負 担 金	60,036,000	60,036,000	100.00	59,727,000	59,727,000	100.00	309,000

第2款 財産収入

予算現額 2 万 3,000 円に対し、収入済額は 2 万 3,972 円で、972 円の増加となっている。

前年度に比べ財政調整基金利子が 4,935 円増加している。

項 別 状 況

項	26年度			25年度			増、減(△)
	予算現額	収入済額		予算現額	収入済額		
		A	収入歩合		B	収入歩合	A - B
	円	円	%	円	円	%	円
財 産 運 用 収 入	23,000	23,972	104.23	20,000	19,037	95.19	4,935

第3款 繰越金

予算現額 138 万 1,000 円に対し、収入済額は 138 万 1,935 円で、935 円の増加となっている。

前年度に比べ前年度繰越金が 49 万 2,268 円減少している。

項 別 状 況

項	26年度			25年度			増、減(△)
	予算現額	収入済額		予算現額	収入済額		
		A	収入歩合		B	収入歩合	A - B
	円	円	%	円	円	%	円
繰 越 金	1,381,000	1,381,935	100.07	1,874,000	1,874,203	100.01	△492,268

第4款 諸収入

予算現額 2,000 円に対し、収入済額は 5,463 円で、3,463 円の増加となっている。  
 預金利子の収入済額は 1,553 円で、前年度に比べ 333 円の増加となっている。  
 雑入の収入済額は 3,910 円で、前年度に比べ 1 万 4,370 円の減少となっている。

項 別 状 況

項	26年度			25年度			増、減(△)
	予算現額	収入済額		予算現額	収入済額		
		A	収入歩合		B	収入歩合	A - B
	円	円	%	円	円	%	円
預金利子	1,000	1,553	155.30	1,000	1,220	122.00	333
雑入	1,000	3,910	391.00	17,000	18,280	107.53	△14,370
計	2,000	5,463	273.15	18,000	19,500	108.33	△14,037

(2) 歳 出

ア 決算状況

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

一般会計歳出決算状況

区 分		26年度 A	25年度 B	増、減(△) A-B
予算現額		61,442,000円	62,575,000円	△1,133,000円
支出済額		59,882,704円	61,192,605円	△1,309,901円
執行率		97.46%	97.79%	△0.33%
翌年度繰越額	継続費逡次繰越	0円	0円	0円
	繰越明許費	0円	0円	0円
	事故繰越し	0円	0円	0円
	計	0円	0円	0円
	予算現額に対する比率	0.00%	0.00%	0.00%
不用額		1,559,296円	1,382,395円	176,901円

予算現額 6,144 万 2,000 円に対し、支出済額は 5,988 万 2,704 円で、前年度に比べ 130 万 9,901 円の減少となっている。

予算現額に対する執行率は 97.46%となっている。

翌年度繰越額は 0 円である。

また、不用額は 155 万 9,296 円で、前年度に比べ 17 万 6,901 円の増加となっている。

不用額の主なものは、総務費の職員手当等、需用費、役務費、委託料、負担金補助及び交付金等で、経費の縮減などによるものである。

イ 用途別決算状況

歳出決算額を「人件費」及び「物件費その他の経費」に分類すると、人件費は 81 万 7,130 円で、前年度に比べ 2 万 167 円の減少となっており、歳出総額に占める割合は 1.36%である。

物件費その他の経費は 5,906 万 5,574 円で、前年度に比べ 128 万 9,734 円の減少となっており、歳出総額に占める割合は 98.64%である。

一般会計用途別決算状況

年度	区分	人 件 費		物件費その他の経費	
		金 額	構成比	金 額	構成比
25		837,297円	1.37%	60,355,308円	98.63%
26		817,130円	1.36%	59,065,574円	98.64%

ウ 款別決算状況

款別の決算状況は、次のとおりである。

第1款 議会費

予算現額 79万 4,000 円に対し、支出済額は 68万 9,015 円で、執行率 86.78%である。  
前年度に比べ 1万 1,059 円の減少となっている。

項 別 状 況

項	26年度					25年度 支出済額 B	増、減(△) A-B
	予算現額	支出済額 A	執行率	翌年度 繰越額	不用額		
議 会 費	円 794,000	円 689,015	% 86.78	円 0	円 104,985	円 700,074	円 △11,059

第2款 総務費

予算現額 6,014万 8,000 円に対し、支出済額は 5,919万 3,689 円で、執行率は 98.41%  
である。

前年度に比べ 36万 4,042 円の減少となっている。

項 別 状 況

項	26年度					25年度 支出済額 B	増、減(△) A-B
	予算現額	支出済額 A	執行率	翌年度 繰越額	不用額		
総務管理費	円 60,022,000	円 59,128,637	% 98.51	円 0	円 893,363	円 59,432,841	円 △304,204
選挙費	44,000	41,052	93.30	0	2,948	85,890	△44,838
監査委員費	82,000	24,000	29.27	0	58,000	39,000	△15,000
計	60,148,000	59,193,689	98.41	0	954,311	59,557,731	△364,042
説 明	◎主な対前年度増減の状況 (項 総務管理費) (目 一般管理費) 社会・労働保険料の減 臨時雇用賃金の減 手数料の増 備品費の減 職員派遣負担金の増 修繕費の減					△49万 4,070円 △320万 6,400円 240万 230円 △61万 5,400円 213万 98円 △39万 3,600円	(皆減) (皆減) (1.24倍) (△94.21%) (1.08倍) (△98.65%)

第3款 予備費

前年度と同様に充当がなく、全額不用となっている。

項 別 状 況

項	26年度					25年度 支出済額 B	増、減(△) A-B
	予算現額	支出済額 A	執行率	翌年度 繰越額	不用額		
予 備 費	円 500,000	円 0	% —	円 0	円 500,000	円 0	円 0

### 3 後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療特別会計の決算額は、歳入 2,578 億 2,843 万 2,482 円（予算現額に対する収入歩合 100.00%）、歳出 2,577 億 3,335 万 5,519 円（予算現額に対する執行率 99.96%）、歳入歳出差引額 9,507 万 6,963 円となっている。

次に、決算規模の推移は、次表のとおりである。

後期高齢者医療特別会計決算規模の推移

年度	歳 入		歳 出	
	決 算 額	対前年度 増、減(△)額	決 算 額	対前年度 増、減(△)額
25	249,017,218,576円	10,872,208,962円	248,914,913,215円	10,860,014,449円
26	257,828,432,482円	8,811,213,906円	257,733,355,519円	8,818,442,304円

本年度決算収支の状況は次表のとおりで、歳入歳出差引額 9,507 万 6,963 円の余剰金を生じており、実質収支として同額の黒字決算となっている。

また、単年度収支では 722 万 8,398 円の赤字となっている。

後期高齢者医療特別会計決算収支の推移

区 分	26年度	25年度
歳入総額 A	257,828,432,482円	249,017,218,576円
歳出総額 B	257,733,355,519円	248,914,913,215円
歳入歳出差引額 (A-B) C	95,076,963円	102,305,361円
翌年度へ繰り 越すべき財源 (既収入財源) D	0円	0円
実質収支 (C-D) E	95,076,963円	102,305,361円
単年度収支 E-前年度のE	△7,228,398円	12,167,513円

## (1) 歳入

## ア 決算状況

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

## 後期高齢者医療特別会計歳入決算状況

区 分	26年度 A	25年度 B	増、減(△) A-B
予算現額	257,838,243,000円	248,969,940,000円	8,868,303,000円
調定額	257,830,164,233円	249,018,401,342円	8,811,762,891円
収入済額	257,828,432,482円	249,017,218,576円	8,811,213,906円
収入済額 対する 比率(収入歩合)	100.00%	100.02%	△0.02%
収入済額 対する 比率(収納率)	100.00%	100.00%	0.00%
収入未済額	1,731,751円	1,182,766円	548,985円
不納欠損額	0円	0円	0円

予算現額 2,578 億 3,824 万 3,000 円に対し、収入済額は 2,578 億 2,843 万 2,482 円で、前年度に比べ 88 億 1,121 万 3,906 円の増加となっている。

予算現額に対する収入歩合は 100.00%で、前年度に比べ 0.02%減少している。

調定額に対する収納率は 100.00%となっているが、諸収入の返納金において 173 万 1,751 円の収入未済額が生じ前年度に比べ 54 万 8,985 円増加している。

## イ 款別決算状況

款別の決算状況は、次表のとおりである。

款	予算現額 A	収入済額 B	収入歩合 $\frac{B}{A}$	予算現額に比し 増、減(△) B-A
	円	円	%	円
市町村支出金	41,668,102,000	41,660,555,401	99.98	△7,546,599
うち保険料等負担金	21,382,752,000	21,375,205,525	99.96	△7,546,475
うち療養給付費負担金	19,715,350,000	19,715,349,876	100.00	△124
国庫支出金	86,974,911,000	86,974,910,939	100.00	△61
うち療養給付費等負担金	62,646,204,000	62,646,204,058	100.00	58
うち高額医療費負担金	934,804,000	934,804,007	100.00	7
県支出金	20,178,024,000	20,178,024,094	100.00	94
うち療養給付費等負担金	19,196,882,000	19,196,882,087	100.00	87
うち高額医療費負担金	934,804,000	934,804,007	100.00	7
支払基金交付金	99,275,258,000	99,275,258,014	100.00	14
特別高額医療費 共同事業交付金	60,748,000	60,748,292	100.00	292
財産収入	10,010,000	10,008,845	99.99	△1,155
繰入金	9,107,582,000	9,107,049,506	99.99	△532,494
繰越金	102,306,000	102,305,361	100.00	△639
諸収入	461,302,000	459,572,030	99.62	△1,729,970
計	257,838,243,000	257,828,432,482	100.00	△9,810,518

収入済額は2,578億2,843万2,482円で、この主なものは市町村支出金、国庫支出金、県支出金、支払基金交付金である。予算現額に対する収入歩合は100.00%だが、予算現額に対する減収の主なものは市町村支出金のうち保険料等負担金である。

保険料等負担金の内訳は次表のとおりである。

保険料等負担金内訳の状況

年度	保険料	延滞金	基盤安定分	計
	円	円	円	円
25	16,458,585,572	5,112,308	4,268,871,204	20,732,569,084
26	16,643,162,751	3,186,697	4,728,856,077	21,375,205,525

保険料等負担金は213億7,520万5,525円で、前年度に比べ6億4,263万6,441円の増加となっている。

保険料収入と被保険者数の状況は次表のとおりである。

保険料収入と被保険者数等の状況

年度	保険料収入 A	年間平均 被保険者数 B	1人当たり 保険料収入 $\frac{A}{B}$
	円	人	円
25	16,458,585,572	263,823	62,385
26	16,643,162,751	265,432	62,702

保険料収入は166億4,316万2,751円で、前年度に比べ1億8,457万7,179円の増加となっている。

年間平均被保険者数は26万5,432人で、前年度に比べ1,609人の増加となっている。

1人当たりの保険料収入は6万2,702円で、前年度に比べ317円増加となっている。

保険料等負担金については、市町村が広域連合に納付すべき額を調定しているため調定額に対する収納率は100.00%となっている。保険料については、13、14ページの表のとおり市町村における調定額168億2,347万7,330円に対し、収納額は166億4,706万6,436円となっている。収納率については、現年分が99.47%で、前年度に比べ0.06ポイント、滞納繰越分が38.60%で、前年度に比べ0.95ポイント、合計では98.82%で、前年度に比べ0.11ポイントそれぞれ上昇している。不納欠損額については2,872万351円となっている。広域連合の保険料収入と市町村における収納額が異なるのは、広域連合への納付が翌月以降となるため、会計年度のずれにより生じるものである。

なお、収納額の中には還付未済額が2,077万1,000円含まれており、前年度に比べ450万900円減少している。引き続き還付事務については、早期に還付が行えるように市町村と連携を図りたい。

保険料の収納率向上は、財政の健全化において極めて重要であり、不納欠損処分は被保険者の不公平感を生み出す要因でもあることから、収納対策実施計画に基づき、市町村と連携を図りながら、積極的かつ効果的な収納対策に取り組まれるよう要望する。

また、諸収入のうち返納金において、一部負担金の負担割合に係る差額請求等に伴う収入未済額が173万1,751円生じている。負担の公平性を確保する観点からも、収入未済額の早期解消に努められたい。

【参考】 各市町村保険料収納状況

市町村名		調定額 A	収納額 B	還付未済額 C	収入未済額 A-(B-C)	収納率 (B-C)/A	不納欠損額
		円	円	円	円	%	円
岡山市	現年分	6,084,267,400	6,050,488,906	6,415,000	40,193,494	99.33	0
	滞納繰越分	82,624,225	26,809,612	112,600	55,927,213	32.31	16,111,438
	合計	6,166,891,625	6,077,298,518	6,527,600	96,120,707	98.44	16,111,438
倉敷市	現年分	3,919,931,300	3,903,369,051	2,608,400	19,170,649	99.51	0
	滞納繰越分	36,036,660	18,701,669	27,300	17,362,291	51.82	4,452,800
	合計	3,955,967,960	3,922,070,720	2,635,700	36,532,940	99.07	4,452,800
津山市	現年分	833,300,400	830,452,020	1,068,900	3,917,280	99.52	0
	滞納繰越分	7,231,956	3,547,835	0	3,684,121	49.05	0
	合計	840,532,356	833,999,855	1,068,900	7,601,401	99.09	0
玉野市	現年分	696,270,000	694,129,600	693,000	2,833,400	99.59	0
	滞納繰越分	6,796,610	2,667,310	0	4,129,300	39.24	786,500
	合計	703,066,610	696,796,910	693,000	6,962,700	99.00	786,500
笠岡市	現年分	488,096,500	487,428,450	1,217,800	1,885,850	99.61	0
	滞納繰越分	4,865,768	2,872,965	0	1,992,803	59.04	512,000
	合計	492,962,268	490,301,415	1,217,800	3,878,653	99.21	512,000
井原市	現年分	364,389,000	362,337,300	132,300	2,184,000	99.40	0
	滞納繰越分	2,142,502	579,700	0	1,562,802	27.05	323,102
	合計	366,531,502	362,917,000	132,300	3,746,802	98.97	323,102
総社市	現年分	544,650,900	544,319,300	2,359,900	2,691,500	99.50	0
	滞納繰越分	6,444,200	1,814,500	0	4,629,700	28.15	2,114,000
	合計	551,095,100	546,133,800	2,359,900	7,321,200	98.67	2,114,000
高梁市	現年分	315,157,300	314,874,500	902,700	1,185,500	99.62	0
	滞納繰越分	3,112,900	1,186,200	9,200	1,935,900	37.81	906,800
	合計	318,270,200	316,060,700	911,900	3,121,400	99.01	906,800
新見市	現年分	324,254,800	323,150,500	286,300	1,390,600	99.57	0
	滞納繰越分	3,511,600	1,424,366	0	2,087,234	40.56	0
	合計	327,766,400	324,574,866	286,300	3,477,834	98.93	0
備前市	現年分	372,909,300	371,005,650	462,400	2,366,050	99.36	0
	滞納繰越分	3,274,550	970,950	0	2,303,600	29.65	476,650
	合計	376,183,850	371,976,600	462,400	4,669,650	98.75	476,650
瀬戸内市	現年分	321,964,500	322,249,600	1,052,700	767,600	99.76	0
	滞納繰越分	2,494,018	665,700	0	1,828,318	26.69	251,000
	合計	324,458,518	322,915,300	1,052,700	2,595,918	99.19	251,000
赤磐市	現年分	383,396,400	383,413,500	1,330,800	1,313,700	99.65	0
	滞納繰越分	3,054,400	997,400	0	2,057,000	32.65	313,400
	合計	386,450,800	384,410,900	1,330,800	3,370,700	99.12	313,400
真庭市	現年分	393,662,900	392,644,100	226,900	1,245,700	99.68	0
	滞納繰越分	2,284,911	1,155,984	0	1,128,927	50.59	188,711
	合計	395,947,811	393,800,084	226,900	2,374,627	99.40	188,711
美作市	現年分	244,798,200	244,530,600	539,100	806,700	99.67	0
	滞納繰越分	2,452,345	590,645	81,100	1,942,800	20.77	244,000
	合計	247,250,545	245,121,245	620,200	2,749,500	98.88	244,000
浅口市	現年分	359,832,400	358,272,750	156,000	1,715,650	99.52	0
	滞納繰越分	2,584,250	569,950	0	2,014,300	22.05	323,650
	合計	362,416,650	358,842,700	156,000	3,729,950	98.97	323,650



市町村名		調定額 A	収納額 B	還付未済額 C	収入未済額 A-(B-C)	収納率 (B-C)/A	不納欠損額
		円	円	円	円	%	円
和 気 町	現 年 分	149,139,500	149,207,400	288,500	220,600	99.85	0
	滞納繰越分	1,734,600	877,200	0	857,400	50.57	473,200
	合 計	150,874,100	150,084,600	288,500	1,078,000	99.28	473,200
早 島 町	現 年 分	115,374,600	114,647,200	106,900	834,300	99.27	0
	滞納繰越分	2,251,500	1,392,600	0	858,900	61.85	130,300
	合 計	117,626,100	116,039,800	106,900	1,693,200	98.56	130,300
里 庄 町	現 年 分	99,336,500	99,076,900	36,900	296,500	99.70	0
	滞納繰越分	969,200	710,000	0	259,200	73.25	218,600
	合 計	100,305,700	99,786,900	36,900	555,700	99.44	218,600
矢 掛 町	現 年 分	142,204,100	141,717,800	35,000	521,300	99.63	0
	滞納繰越分	680,100	313,350	0	366,750	46.07	53,400
	合 計	142,884,200	142,031,150	35,000	888,050	99.37	53,400
新 庄 村	現 年 分	7,492,500	7,492,500	0	0	100.00	0
	滞納繰越分	44,000	0	0	44,000	0.00	0
	合 計	7,536,500	7,492,500	0	44,000	99.41	0
鏡 野 町	現 年 分	92,911,600	92,751,000	0	160,600	99.82	0
	滞納繰越分	838,200	226,500	0	611,700	27.02	282,500
	合 計	93,749,800	92,977,500	0	772,300	99.17	282,500
勝 央 町	現 年 分	77,295,100	77,239,400	43,600	99,300	99.87	0
	滞納繰越分	1,258,600	258,900	0	999,700	20.57	558,300
	合 計	78,553,700	77,498,300	43,600	1,099,000	98.60	558,300
奈 義 町	現 年 分	44,340,000	44,188,600	0	151,400	99.65	0
	滞納繰越分	157,700	142,700	0	15,000	90.48	0
	合 計	44,497,700	44,331,300	0	166,400	99.62	0
西 粟 倉 村	現 年 分	12,325,300	12,325,300	0	0	100.00	0
	滞納繰越分	0	0	0			
	合 計	12,325,300	12,325,300	0	0	100.00	0
久 米 南 町	現 年 分	45,097,300	45,102,000	4,700	0	100.00	0
	滞納繰越分	2,000	1,800	0	200	90.00	0
	合 計	45,099,300	45,103,800	4,700	200	99.99	0
美 咲 町	現 年 分	130,333,300	129,198,273	114,100	1,249,127	99.04	0
	滞納繰越分	1,013,835	447,000	0	566,835	44.09	0
	合 計	131,347,135	129,645,273	114,100	1,815,962	98.61	0
吉 備 中 央 町	現 年 分	82,343,100	82,349,400	458,900	452,600	99.45	0
	滞納繰越分	542,500	180,000	0	362,500	33.17	0
	合 計	82,885,600	82,529,400	458,900	815,100	99.01	0
合 計	現 年 分	16,645,074,200	16,577,961,600	20,540,800	87,653,400	99.47	0
	滞納繰越分	178,403,130	69,104,836	230,200	109,528,494	38.60	28,720,351
	合 計	16,823,477,330	16,647,066,436	20,771,000	197,181,894	98.82	28,720,351

## (2) 歳 出

## ア 決算状況

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

## 後期高齢者医療特別会計歳出決算状況

区 分	26年度 A	25年度 B	増、減(△) A-B
予算現額	257,838,243,000円	248,969,940,000円	8,868,303,000円
支出済額	257,733,355,519円	248,914,913,215円	8,818,442,304円
執行率	99.96%	99.98%	△0.02%
翌年度繰越額	継続費逡次繰越	0円	0円
	繰越明許費	0円	0円
	事故繰越し	0円	0円
	計	0円	0円
	予算現額に対する比率	0.00%	0.00%
不用額	104,887,481円	55,026,785円	49,860,696円

予算現額 2,578 億 3,824 万 3,000 円に対し、支出済額は 2,577 億 3,335 万 5,519 円で、前年度に比べ 88 億 1,844 万 2,304 円の増加となっている。

予算現額に対する執行率は 99.96%となっている。

また、不用額は 1 億 488 万 7,481 円で、前年度に比べ 4,986 万 696 円の増加となっている。

## イ 款別決算状況

款別の決算状況は、次表のとおりである。

款	予算現額 A	支出済額 B	執行率 $\frac{B}{A}$	翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C
	円	円	%	円	円
総務費	593,210,000	591,864,737	99.77	0	1,345,263
保険給付費	238,229,416,000	238,226,601,459	100.00	0	2,814,541
県財政安定化基金 拠出金	87,873,000	87,872,578	100.00	0	422
特別高額医療費 共同事業拠出金	61,766,000	61,763,429	100.00	0	2,571
保健事業費	136,183,000	136,183,000	100.00	0	0
基金積立金	11,179,795,000	11,079,572,154	99.10	0	100,222,846
諸支出金	7,549,500,000	7,549,498,162	100.00	0	1,838
うち被保険者還付金	25,142,000	25,141,086	100.00	0	914
うち国庫負担金等償還金	7,523,934,000	7,523,933,876	100.00	0	124
予備費	500,000	0	0.00	0	500,000
計	257,838,243,000	257,733,355,519	99.96	0	104,887,481

支出総額は2,577億3,335万5,519円で、この主なものは保険給付費、翌年度における清算のための基金積立金、前年度清算のための償還金である。

予算現額2,578億3,824万3,000円に対する執行率は99.96%である。

不用額の主なものは、総務費の負担金補助及び交付金、保険給付費の負担金補助及び交付金、基金積立金の積立金などである。

保健事業については、被保険者の健康に対する意識づくりによる医療費適正化を図ることも重要であることから、健康診査の受診率のさらなる向上を目指すよう色々なアプローチを図り、市町村との協力を引き続き要望する。

療養諸費の状況は次表のとおりである。

#### 療 養 諸 費 の 状 況

年度	療養諸費額 A	前年度比	年間平均 被保険者数 B	療養諸費 件数 C	一人当たり の療養諸費 $\frac{A}{B}$	一人当たりの 年間受診件数 $\frac{C}{B}$
	円	%	人	件	円	件
25	224,614,403,124	102.70	263,823	7,303,716	851,383	27.68
26	227,015,133,113	101.07	265,432	7,644,288	855,267	28.80

(注)「療養諸費額」は審査支払手数料を控除した額。

高額療養諸費の状況は次表のとおりである。

#### 高 額 療 養 諸 費 の 状 況

年度	高額療養諸費額 A	前年度比	年間平均 被保険者数 B	高額療養 諸費件数 C	一人当たり の高額療養諸費 $\frac{A}{B}$
	円	%	人	件	円
25	9,525,508,660	103.41	263,823	608,569	36,106
26	9,849,184,829	103.40	265,432	642,825	37,106

保健事業費の状況は次表のとおりである。

保健事業による健康診査の受診状況

年度	対象者数 A	受診者数 B	受診率 $\frac{B}{A}$	受診率の増減
	人	人	%	%
25	254,892	25,564	10.03	△ 0.55
26	256,242	25,365	9.90	△ 0.13

(注1)「対象者数」は4月1日現在の被保険者数から受診対象外者を引いた数。

(注2)「受診者数」は個別健診、集団健診の合計。

(注3)「対象者数」は生活習慣病通院者等を含めた数。

【参考】各市町村健診受診者数の状況

市町村名	被保険者数 (4月1日被保数)	対象者数	集団健診			個別健診			受診者数計	受診率
			課税	非課税	小計	課税	非課税	小計		
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	%
1 岡山市	79,379	79,379	2	0	2	4,956	140	5,096	5,098	6.42
2 倉敷市	54,355	53,082	555	123	678	1,435	758	2,193	2,871	5.41
3 津山市	15,597	14,484	101	54	155	1,580	986	2,566	2,721	18.79
4 玉野市	10,268	10,268	22	2	24	899	159	1,058	1,082	10.54
5 笠岡市	9,261	9,167	531	133	664	155	43	198	862	9.40
6 井原市	8,108	8,108	471	236	707	453	349	802	1,509	18.61
7 総社市	8,567	8,033	96	0	96	203	0	203	299	3.72
8 高梁市	7,629	7,467	177	102	279	33	22	55	334	4.47
9 新見市	7,468	6,701	724	313	1,037	217	114	331	1,368	20.41
10 備前市	6,666	6,428	14	12	26	895	361	1,256	1,282	19.94
11 瀬戸内市	5,840	5,532	116	42	158	54	24	78	236	4.27
12 赤磐市	6,255	6,255	253	66	319	0	0	0	319	5.10
13 真庭市	10,214	9,404	0	0	0	1,796	740	2,536	2,536	26.97
14 美作市	6,695	6,695	673	489	1,162	0	0	0	1,162	17.36
15 浅口市	5,993	5,993	88	17	105	38	11	49	154	2.57
16 和気町	2,869	1,141	0	0	0	143	74	217	217	19.02
17 早島町	1,475	1,475	150	38	188	20	10	30	218	14.78
18 里庄町	1,553	1,437	271	71	342	0	0	0	342	23.80
19 矢掛町	2,950	2,789	139	31	170	0	0	0	170	6.10
20 新庄村	251	218	24	14	38	2	3	5	43	19.72
21 鏡野町	2,824	2,824	289	169	458	152	135	287	745	26.38
22 勝央町	1,838	1,838	232	93	325	0	0	0	325	17.68
23 奈義町	1,131	1,108	168	84	252	0	0	0	252	22.74
24 西粟倉村	351	323	66	44	110	31	12	43	153	47.37
25 久米南町	1,262	1,251	99	75	174	0	0	0	174	13.91
26 美咲町	3,422	2,338	460	244	704	0	0	0	704	30.11
27 吉備中央町	2,872	2,504	47	27	74	51	64	115	189	7.55
合計	265,093	256,242	5,768	2,479	8,247	13,113	4,005	17,118	25,365	9.90

#### 4 財産に関する調書

平成26年度における財産の取得及び処分の異動状況は、次のとおりである。

(1) 公有財産

本年度末における公有財産はなく、本年度中の異動はない。

(2) 物品

本年度末における取得金額100万円以上の物品は3点で、本年度中の異動はない。

(3) 債権

本年度末における債権はなく、本年度中の異動はない。

(4) 基金

本年度末における基金は3基金37億4,227万3,574円で、前年度末より1億9,817万4,058円増加している。これは、岡山県後期高齢者医療広域連合財政調整基金が71万4,972円増加し、岡山県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療制度臨時特例基金が2億9,073万5,146円減少し、岡山県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療給付費準備基金が4億8,819万4,232円増加したためである。

基金名	前年度末 現在高	決算年度 中増減	決算年度末 現在高
岡山県後期高齢者医療広域連合 財政調整基金	25,168,790	714,972	25,883,762
岡山県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療制度臨時特例基金	530,328,366	△ 290,735,146	239,593,220
岡山県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療給付費準備基金	2,988,602,360	488,194,232	3,476,796,592
「前年度末現在高」とは平成26年3月31日現在の数値。 「決算年度末現在高」とは平成27年3月31日現在の数値。 「財政状況公表に関する条例」に基づく財政状況の数値。			

## 5 むすび

平成26年度の決算審査の概要は以上のとおりである。

本年度の決算規模は一般会計、特別会計を合わせた総額で、歳入2,578億8,987万9,852円、歳出2,577億9,323万8,223円となり、前年度に比べ歳入は88億1,008万6,736円、歳出は88億1,713万2,403円それぞれ増加している。これは、特別会計における保険給付費の伸びによるものがほとんどである。

これを決算収支でみると、形式収支（歳入歳出差引額）は、一般会計で156万4,666円の黒字、特別会計で9,507万6,963円の黒字となっており、実質収支も同額の黒字決算となっている。また、単年度収支においては、一般会計で18万2,731円の黒字、特別会計で722万8,398円の赤字となっている。

歳入について、予算現額に対する歳入決算額の割合は、一般会計で100.01%、特別会計で100.00%となっている。また、調定額に対する割合は一般会計で100.00%、特別会計で100.00%となっているが、特別会計において、返納金の収入未済額が173万1,751円生じている。さらに、市町村における保険料の収納率は、現年分と滞納繰越分合わせて98.82%となっており、1億9,718万1,894円の収入未済額が生じている。保険料の収納率が前年度に比べ0.11ポイント上昇していることは、市町村の収納努力の結果である。財政の健全化と被保険者間の公平性を保つためにも、滞納者に対する給付充当の活用等、引き続き市町村と連携を図りながら収納対策に取り組み、なお一層努力されるよう要望する。また、財産運用収入は前年度に比べ228万1,573円増加しており、限りある財源の有効かつ適切な活用をより一層進め、継続して財産運用に努められるよう要望する。

歳出については、前年度に比べ一般会計で130万9,901円の減少、特別会計で88億1,844万2,304円の増加となっている。一般会計については、大部分が賃金等の減少によるものである。特別会計については、歳出総額のうち92.43%が保険給付費であり、前年度に比べ27億1,146万7,249円増加している。

急激な高齢化に伴い、医療給付費は年々増加しており、このことは被保険者の負担増につながる。医療費適正化のための施策として、前年度に引き続き、医療費通知の送付、ジェネリック医薬品についてのカードの配布等、被保険者への意識づけに努力されている。被保険者の医療に対する意識づけこそが、医療費適正化の第一歩であり、さらにさまざまな手法を用いて啓発されることを望む。

併せて、レセプト点検委託業務においては、増加傾向にある不正な請求や請求ミスをなくすよう、より一層厳格で適正な事務を行うよう重点課題として取組みいただきたい。

受診率の低下が認められる健康診査事業については、市町村との緊密な協力・連携をさらに強化し、受診率が向上するように効果的な対応策を講じられたい。

国における過去の受診データを活用した国保・後期高齢者ヘルスサポート事業推進等を受け、広域連合においてもデータヘルス計画を作成中とのことであるが、懇話会等で意見を聴取されて、被保険者の状況把握や指導強化により、より一層の健康意識づくりの高揚を図られたい。

本年度の決算傾向は、今までと同様に医療給付費の増加が1人当たりの保険料の増加に

繋がっていると考えられる。被保険者の生活への圧迫や医療制度の継続を考えた場合、医療費の抑制のため、レセプト情報や健診受診情報等を十分に分析し、指導や啓発等を推進いただきたい。

今後とも、制度を運営していく上で社会情勢を的確に把握した予算編成や計画的な資金収支に留意し、確実かつ効率的な運用に努め、被保険者が安心して医療を受けることができるよう制度・財政運営に取り組んでいただきたい。